

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	80.0	18.2	0.0	1.8
女子	63.5	26.9	7.7	1.9

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	80.0	14.5	5.5	0.0
女子	75.0	17.3	3.8	3.8

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	61.8	20.0	10.9	7.3
女子	36.5	42.3	15.4	5.8

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	18.34	20.56	34.01	40.30	48.23	9.47	148.21	21.51	53.91	女子	17.94	17.88	37.06	36.81	36.50	10.20	138.65	12.21	52.81

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

(重点課題)
 *「運動やスポーツをすることが好き」という肯定的意見は男女ともに9割を超えているが、授業外で週3日以上運動する児童は、男子6割、女子4割と低い。
 (要因)
 ・スマホやタブレットなど、運動以外に興味関心を引くものが増えている。

体力面

(重点課題)
 ・男女共に「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」が県平均かつ全国平均を下回っている。
 (要因)
 ・運動機会の減少、休憩時間での外遊びの減少。
 ・共通して脚力が弱いと考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・全校児童を対象とした体力テストの実施。
- ・走力や敏捷性を高める運動を取り入れることで、運動量の確保と敏捷性の向上を目指す。
- ・運動意欲が高まるようにマラソン大会や短縄記録会を全学年で行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・毎週週末に体力づくりの家庭学習を行い、児童が主体的に運動を行うことができるようにする。
- ・体育的行事(短縄大会、マラソン大会)などの前に練習期間を設けて主体的に活動できるようにする。

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・走力「50m走」、敏捷性「反復横跳び」の数値を男女とともに県平均、全国平均以上にする。